

築瀬小だより



やな ぜ

令和5年5月 第2号 発行責任者 新村 幸江

やな ぜ 魂

ともに進む
たくましく
あかるく
あたたかく

みんなで広げた 築瀬の輪 ～令和5年度版 運動会～



晴天の下、子供たちの躍動感あふれる演技が、校庭に次々と繰り広げられました。今年度の運動会は、保護者の方をはじめ多くの方々に子供たちの晴れの姿を参観していただこうと、人数制限なし、子供たちの活躍の場面を新たに検討するなど、令和5年度版運動会は教職員も含めて、子供たちとともに楽しむことを願って準備を進めてきました。

「導け勝利 みんなで広げる 築瀬の輪」(6年 白井愛菜さん 作)のスローガンどおり、子供たちは最後まであきらめず全力を尽くし、ともに表現することを楽しんだり、仲間の頑張りを称え合ったりするなど、子供らしい表情と姿を存分に魅せていました。参観者からの温かな拍手にも笑顔で応えるなど、余裕あるしぐさに子供らしい一面をみました。

一体となってやり切ることに楽しさを感じていた子供たち。自分に任された仕事に責任をもってやり通した5・6年生。令和5年度運動会を通して、子供たちは一回り大きく成長し、スローガン通り、築瀬の輪を大きく広げることにつながりました。子供たちの活躍を陰ながら支えていただいた旭中学校ボランティアのみなさん、PTA 役員・おやじの会の皆様のお力添えに深く感謝いたします。ありがとうございました。



シンボルマーク 6年
星野モーランド瑛愛さん 作



★縦割り班の顔合わせ ～みんなドキドキ！からのスタート～

自分の教室とは違った教室に集まる、周りを見ても知らない人ばかり。1年生にとって、この縦割り班とは、いったい何をするのか、きっと不安を抱えて集まったことでしょう。昨年1年間経験してきた2年生は、見通しをもって行動しようとし、6年生は、班長の役を果たす初日として懸命に取り組もうとするなど、学年それぞれの思いをもっての顔合わせになりました。縦割り班活動を毎年継続して行うことにより、子供たちは上級生から仲間の意見をよく聴くこと、相手の気持ちを考える大切さを学んでいきます。第1回は今年の試みとして、シンボルとなる旗づくりに挑戦しました。さらに、7月に開催するヤナゼフェスティバルの催し内容を話し合いました。初日から、各班長、見事な指揮を執り、縦割り班が機能し始めました。

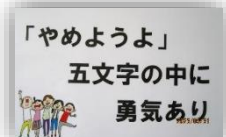


ヤナゼフェスティバルに向けた話し合い

★いじめゼロ強調月間（5月・9月）

5月は「いじめゼロ強調月間」として、子供たちへいじめを「しない・負けない・許さない」を合言葉に、築瀬小みんなが笑顔で楽しい学校生活を送れるよう、いじめゼロに向けた具体的な取組を行いました。

- いじめゼロリボンシールの着用
- 「いじめゼロスローガン」の作成



- ・一人一人が作成したスローガンを基に、学級のスローガンを決定。各学級のスローガンを代表委員が校内放送で発表。
- ・学級のスローガンは教室の前方の入口に、全学級のスローガンは一覧にして各教室に掲示。

○いじめに関するアンケート調査の実施⇒6月初旬からアンケートを基に教育相談を実施。

○教職員による休み時間等の巡回⇒各学年分担場所を中心に、校内巡視の強化。

○「いじめ根絶だより」を作成・配付

頑張りの連続であった運動会を終え一息つくこの時期になると、子供たちの中には、学級や学習、友達関係等に悩みが生じてくることもあります。子供の気持ちに寄り添った対応を心掛けていきますが、ご家庭にてお子様の様子等から気になることや心配なことがありましたら迷わず学校・担任へご相談ください。保護者の皆様と日常的な連携を大切に、早期発見・早期対応に努めます。

★心肺蘇生法 ～全教職員で実技指導を受けました～

毎年この時期、水泳授業開始前に職員研修として心肺蘇生法を実施しています。傷病者を発見後に迅速かつ冷静な判断で対応できるよう、繰り返しの実践を基本として教職員全員で取り組みました。救助現場が危険でないこと、反応の有無を確認すること、大声で叫び応援を呼ぶこと、119番通報とAED依頼、呼吸をみること、の流れを確認し、胸骨圧迫とAEDを装着しての実技指導を受けました。



★教科書展示会のお知らせ ～教科書の一般公開が行われます～

- ・事前展示会 令和5年6月19日(月)～6月22日(木)午前9時～午後5時
- ・教科書展示会 令和5年6月23日(金)～7月14日(金)午前9時～午後5時
- ・会場：栃木県河内庁舎B棟2階研修室

この展示会は、地域住民等の多くの方々に認識の機会を提供し、教科書に対する関心を高めていただくものです。